

東京第四隊機關誌

(第15号)

月刊

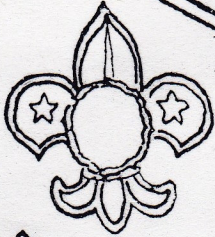
特別号

No. 15

発行兼 編纂者 佐脇大三

発行所 東京第四隊
印刷所 ホーイ・スカウト日本
聯盟印刷部

SMILE



教會に於ける
スカウト運動



ハンズレットの目的

スカウト運動に於ける最も重要な點は神を信じ尊敬の態度を啓發する事であり、スカウトの誓は『神と國とに誠を盡し掟を守ります』で始まり、スカウトの掟『スカウトはつゝしみ深い』で終つてゐる。

スカウト運動は國際的運動であり、世界のすべての宗教の會員の中に含れてゐる。何故ならば、スカウト運動の創始者ロード・ロバート・ベーデンポウエル卿の父は、英國の一教會の牧師であると記されて居りました。この様に教會、そしてクリスチヤンの家庭の影響は現在、スカウト運動の發達に於いて最も重大な位置をしめてゐる。今日原理的キリスト教國に於いてスカウト運動は強力に發達してゐる、しかし無信仰の哲學を持つてゐる國即ち鐵のカーテンの後ろではスカウトは一人も居りません、何故ならばキリスト教の本質、スカウト運動の本質である、デモクラシイとマルクス主義共產主義とは、明白に兩立しないからであります。

アメリカに於ては 2,600,000 人以上のスカウトが居り、これらの大部分のスカウト隊は新教、舊教そしてユダヤ教の後援であります。アメリカに於ては新、舊、ユダヤ教の教會委員會は教會と米國ボーイスカウト聯盟と共に密接なる協力をスカウト運動の爲にもつてゐる。



B. S. 關東大會 競技會

ボーイスカウト東京第四隊は靈南坂教會に於て 1947 年 2 月 22 日に發足致しました、丁度この日はボーイスカウトの創始者ベーデンポウエル卿の誕生日でもあります、又米國初代大統領ジョージワシントンの生れた日でもあります、發足以來今日に致る迄この隊は靈南坂教會の主要な位置をしめて來ました多くの少年達が興味あるスカウト運動の活動を通して教會へ來る様になり加入して來ましたが日本に於てはボーイ・スカウト隊を後援してゐる新教の教會は非常に少ないのであります。

私共は日本にあるすべての教會が 1947 年に再組織された興味あるボーイ・スカウト運動を行つて現在 1000 隊 3 万人組織されてゐます。

多くのクリスチヤンが隊の中に見られる様に又私共は日本のキリスト教會がこの興味あるボーイスカウト運動を取り上げるべきであると信じて居ります、何故ならば私共は日本に於けるキリスト教精神に貢献することを知つて居ります、そして日本に於けるスカウト運動が急速に發展してゐる今日、我々キリスト教新教がその成長を導びくべき援助に於いて適當な役割をはたすだらう、そして日本に於るスカウト運動の發展に最も重要な役割を果すであります、私共の隊ではスカウト運動を廣く知らしめる爲に毎月機關紙“Smile.”を發行して居ります、これらの費用はすべて無記名でキリスト教信者から支拂われている。



B. S. 關東大會 (築地本願寺にて)

教會に奉仕するスカウト計畫

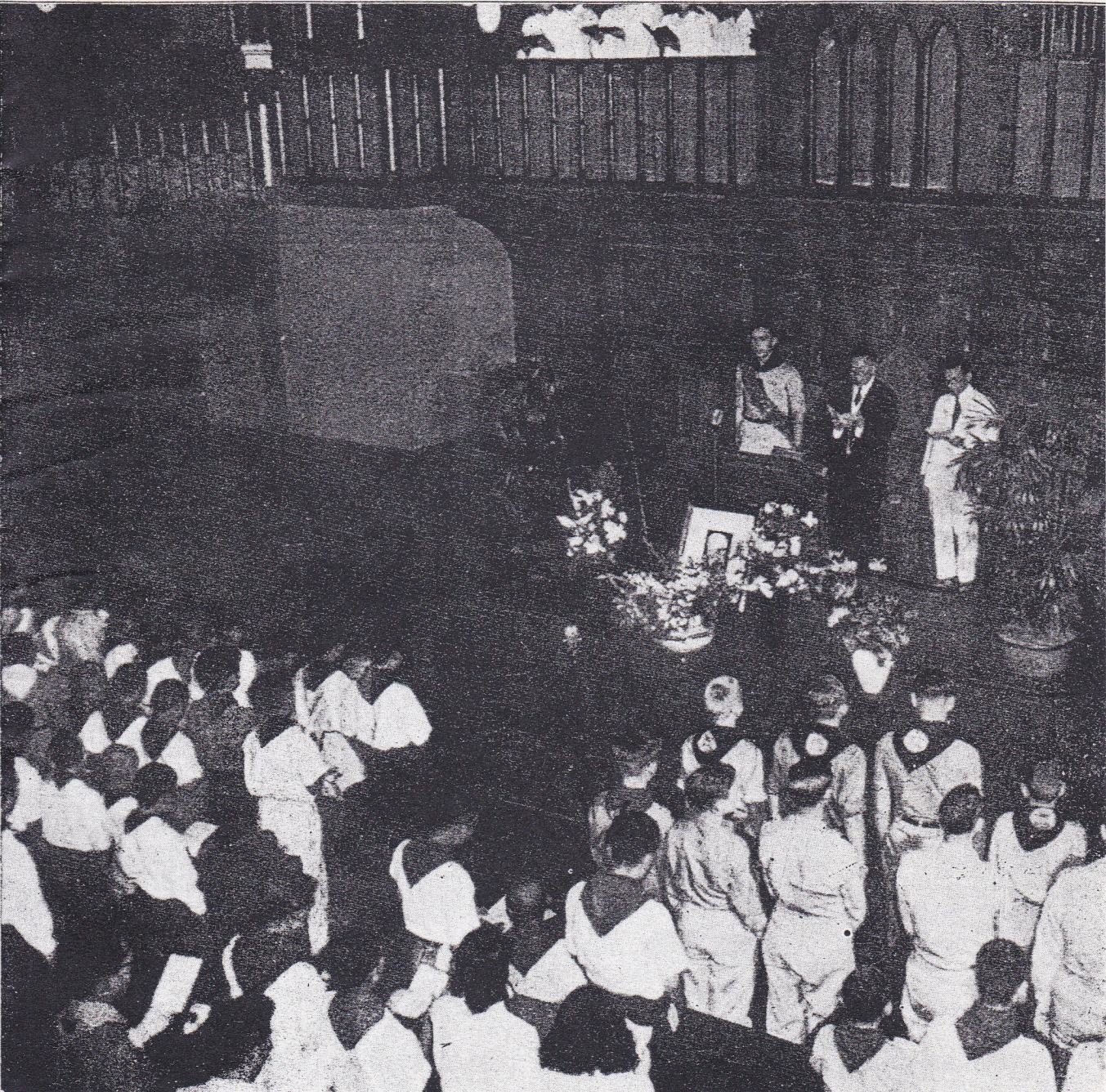
スカウト運動は教會に奉仕する、少年たちの福祉を念とする同運動は、教會が青少年の精神的道徳的厚生を増進を圖るに際し、全機能を擧げてその用に供して居る。一方教會はその教義、信念、政策、實施の面に於て、何等讓歩することなくスカウト運動の目的とする次の様な奉仕を受けとつて居る。即ち——

- 少年達の心を捉へる様な實驗済のプログラ

ム、それはまた教會内の宗教教育の計畫とも総合的に實施可能のものである。

- 教會がその少年たちの爲に選任した指導者に對し、スカウト運動のプログラムを使用して行ふ効果的な指導者訓練。
- 他のスカウト隊と共同して實施する諸行事のプログラム、それに依り少年たちは、業績達成を促され、經驗を分かち合ひ、視野を

故ウエスト博士追悼會靈南坂教會にてケール氏、小崎先生、三島理事長





第二回全國大會

廣くすることが出来る。

- 少年たちも指導者も健全な戸外の體驗をたのしめるキャンピングの施設。
- 教會に於ける青少年指導者の參考となる文獻や企畫の解説書。
- スカウト運動のプログラムを教會や社會の少年たちの間に實施するに當り助言を與へまた相談を受ける有給の又は篤志のスカウト指導者たち。

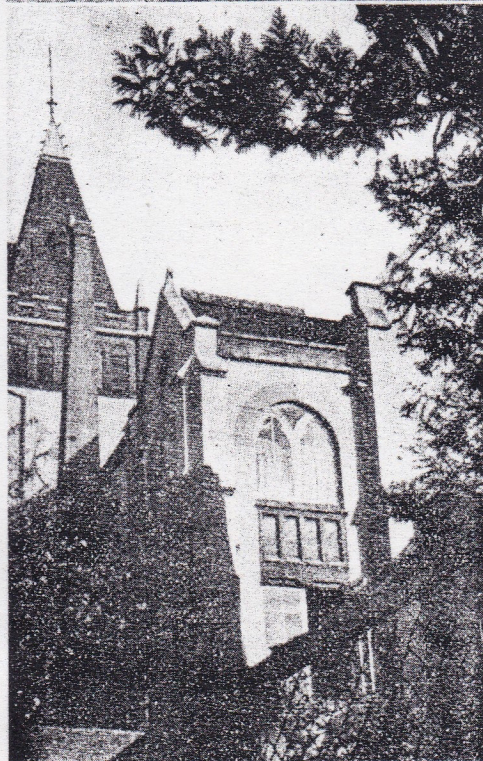


ハイキング

- サーヴァイス・ステーションとして、またスカウト隊を管理する機關相互の協力の媒體としての機能を持つ地域協議會。
- 本運動のプログラムの發展を計り、需品を供給し諸運動を調整するための全國協議會。

スカウト運動は教會内の青少年の爲に喜んで奉仕する。「ボーイスカウト運動自體はたゞ一つの幼年隊も少年隊も青年隊も所有しては居らず、スカウト隊は凡べて親團體に依り所管されその最大多數は教會である。」スカウト運動が、如何に教會のプログラムの中に溶け込んで居るかといふと。

- 教會がスカウト運動を採用すると、そのスカウト隊はその教會に所屬し、(隊の憲章の規定に基き)精神的目標の達成を圖る。
- 教會に於けるスカウト隊は家族の一員、會衆の子供であり、外の社會から、假りの宿り暖みと、榮



靈南坂教會

第二回隊誕生日(隊ルームにて)



スカウト運動は冒険であり遊戯であり、搜索であり、活動的な若人の欲求を充足する胸躍る體驗である。教會がこれを少年運動の積極的な目論見を實現するために用ひれば、有效な手段となる。即ちこの手段に依り教會は少年たちに對する愛護の手を銜に、角の空地に、鐵道線路沿ひに、交叉點にまた農場にまで差しのぼし、彼等に成人への途すがらに於て指導を與へることが出来る。

現在日本には宗教々育の恩恵を受けずに育

つて居る少年たちが何百萬も居るが、これらの少年たちを基督信者の交りと體驗に齎す爲凡ゆる手段が利用されなくてはならない。スカウト運動も亦、少年たちを惹きつけ彼等を宗教に於ける精神力の淵源に導くのに與つて効果のある媒體の一つである。

多くの若人とその家族が、スカウト運動を通じ教會へ行く様になつたが、今や教會が、もうあと百萬の少年たちのために扉を開くべき時である。

發隊當時の第四隊 左に立てるはウィリヤム氏、右端は小崎先生、今井先生



日本新教徒のボーイスカウト指導者

◎私共は言葉を進めるならば、ボーイスカウト日本聯盟の職員の中の三人はキリスト教信者であります、ボーイスカウト日本聯盟總主事の古田先生は日本聖公會の會員であり又先生は、英國のロンドンでベーデンポウエル卿に直接スカウト運動を勉強して來ました。そして今年總主事に就任する前は、大阪府の高槻市の市長でありました。

◎日本聯盟組織局々長である關忠志先生は中野教會の會員であります、又今夏關氏は日本青年教育指導者の一人としてア



第二回全國大會日曜禮拜

メリカへ行きました。

今井氏と關氏はアメリカのボーイ・スカウトの指導者養成所に出席し、この養成所を卒業した最初の外國人であります。今井氏と關氏はこの養成所卒業後ボーイ・スカウトの四十年記念のボーイ・スカウト大會には特別來賓として出席された。

このジャンボリー（ボーイ・スカウト大會）に於いて日本の國旗が戦後初めてアメリカに於いて公式に掲揚されたのであります。



第二回全國大會（新宿御苑にて）

ボーイスカウトの訓育法

班制度＝少年の本然の性能に従つて六人から八人位の小さい自治的なグループ（班）を作らせグループワークによつて、少年達に協力心と責任感を持たせ、指導者は少年の個性に應じて行くのであります。

進級制度＝スカウトは豫め公表された一定の規準により、初級、二級、一級と等級が進められます。それによつて少年の向上心が養われ、又有能な人として必要な技能を身につけて行くのであります。

技能章制度＝スカウトが社會に對しても又自分自身にも役立つ各種の技能を選んで修得させる様に定められたものが技能章制度であります。然もこれは、少年達が興味をもつてやる様に仕組まれてあります。

「ちかい」と「おきて」＝スカウトとして最も大切なことは、互に一定の「ちかい」を持ち「おきて」を守ることであります。

「ちかい」とはスカウト自らの「生活の信條」であり、「おきて」はスカウトとして

當然そうあるべき毎日の行動を指し示す、

「ものさし」であります、従つて「すべし」

「すべからず」

の様な禁止の
條文ではな
く、少年が高
潔な人格完成
へ努力するた
めの理想を表
わしてありま
す。

野外活動=森や

河、四季それ

ぞれの美しい

山野は、少年

達の夢を生かす、絶好のあそび場所であり
ます。スカウティングはこの野外に於ける
活動を主とし、少年達は、ハイキング・キ
ャンピングに於て色々な技能を磨かれ、健



國旗、隊旗掲揚（本庄キャンプにて）

康な生活を體驗します。従つてスカウト達
が室内で集會したり、訓練したりするのは

すべてこの野
外活動が完全
に出来る爲の
準備でありま
す。

服装=スカウト

の制服はスカ
ウティングの
理想と野外活
動のシンボル
であります。

少年の努力の
跡と名譽を物

語る徽章をつけた制服は少年達にプライド
と全世界にまたがるスカウト兄弟である
という自覺をもたせます。

ボーイスカウトの組織

年齢=ボーイスカウトは十二才から十八才の
少年のものであります。

班=六人か八人位で一班をつくり少年指導者
として班長と次長があり、何事も班が中心
になつて行方。

隊=隊は二―四班で作ります。隊には班が四
つ以上になることはありません、従つて一
隊は三十二名が定員であります。

隊の指導者=隊の指導者に隊長（二十一才以
上）副長（十八才以上）副長補、隊付、上
級班長があります。隊長及上級班長は班長
の援助者として直接隊の指導訓練に當りま
す。副長、副長補、隊付は隊長の補助者と
して隊に設けられます。普通十八才以上の

者がこの任務をもちます。

年少幹部=班長、次長、上級班長を年少幹部
といつて、隊としての色々な計畫はこの年
少幹部の會議で行れます。又班長が班員を
指導する基本となることは隊長の指導の下
にこの年少幹部班訓練に於て行われます。

育成會と隊委員會=育成團體又は育成會は少
年達をよいスカウトとして育て様と思つて
隊を作る、父兄を含んだ大人の人達であり
この育成團體から選ばれた隊委員は、直接
にはスカウト達の訓練にはたずさわらない
が、隊長が指導する上のあらゆる便宜と援
助をひきうける人達であります。

東京都中央区京橋二ノ二千代田生命ビル

日本ボーイスカウト中央事務局

東京都港区赤坂靈南坂教會内

ボーイスカウト東京第四隊

印刷所 ボーイスカウト日本聯盟印刷部

東京都中央区西八丁堀四丁目四番地